

科目名: 健康につながるオーラルケア		科目コード	EJ89	
科目主査: 永山 正人		担当講師: 永山 正人	単位	2
			配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
<p>本科目は健康長寿社会に寄与するオーラルケアに関する知識および技術を身につけることを目的とします。健康長寿を全うするための口腔保健論を理解するとともに、オーラルケアに関する知識と技術を身につけることにより、自己の健康管理・職場の生産性の向上に役立つ内容を学習します。ただし、実施にあたり医師・歯科医師等の専門家の指導が必要な部分は除外いたします。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:		
履修の前提となる知識 その他特記事項	『健康とは何か：新しい健康観を求めて』Mildred Blaxter 著 渡辺義嗣 訳2011」とオーラルケアに関する本を読んでおく授業を受けやすくなります。			
テキスト	『口腔機能の維持・向上による全身状態改善のためのオーラル・マネジメント実践マニュアル』別所 和久 監修／奥田 聖介・武井 典子 編著, 医歯薬出版, 2010年 及び当日配付の資料 ※テキストはスクーリング受講許可者に配布します。			
この科目の到達目標	<p>①全身の健康管理にオーラルケアが必要であることを理解し、その方法を十分身に付けることにより、家庭生活、仕事を豊かにすることができます。</p> <p>②う蝕、歯周病、咀嚼、嚥下に関する基礎知識を身に付けることにより、誤嚥性肺炎等の予防にオーラルケアが必要であることを理解します。</p>			
成績評価の方法	<p>①健康とオーラルケアに関する基本的知識の理解度をみます。</p> <p>②オーラルケアの方法論についての理解度、応用能力についてみます。</p>			
事後学習	健康とスポーツ、医療福祉経営論、医療における人の心理と行動、医療・福祉心理学等の科目を学習してください。			
事後学習の参考文献	<p>『改訂版 口腔ケア基礎知識』(一社)日本口腔ケア学会、永末書店、2017年</p> <p>『口腔ケアのABC QOLのためのポイント110』河合 幹ほか、医歯薬出版、1999年</p> <p>『患者さんのためのオーラルフレイルと口腔機能低下症の本』菊谷 武、医歯薬出版、2018年</p>			
スクーリング受講時に用意するもの				
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 手鏡 <input checked="" type="checkbox"/> 歯ブラシ <input checked="" type="checkbox"/> 爪楊枝1本 <input checked="" type="checkbox"/> ティッシュペーパー(数枚)				